

韓国海洋大学校プログラム参加報告書

外国語学部英米学科 2 年（参加当時）

今回約 3 週間にわたる韓国海洋大学校でのプログラムに参加して、普段学ぶことのできない海洋関係の授業に触れ合えたことに加え、韓国の文化や韓国に対する興味関心が高まる有意義な体験になりました。まず授業面に関して振り返ると、教室内での講義に加え、

専門的な実験や、大学が所有する船の上での講義、船内の仕組みについて学ぶ機会があり、普段学ぶことのできない分野の学習をすることができる貴重な機会となりました。授業は主に英語で行われると聞いていましたが、日本語が大半で、他の大学からの参加者の方たちの中には英語があまり得意でない方も多くいたため、英語が苦手な方でも海洋大学や韓国に興味がある生徒さんにもおすすめできるプログラムだと感じました。また、英語だけでなく韓国語のハングルも読めない方も多かったため、韓国語の授業では基本的なハングルや挨拶など簡単なフレーズを学んだのみとなりました。授業の中で特に私の記憶に残っているのは field work での経験です。午後からの授業の半数が field work で構成されており、大学内のみならず校内を出て、大学院で行われている魚の養殖場を見学したり、国際機関やミュージアムに訪問したりするなど、自分自身で訪れ学び、経験する機会が提供されていました。自分個人では得ることのできない多くの学びを体験し学ぶことができたという点で、充実したプログラム内容であり、私たち 3 人はほかの参加者よりも数日遅れての参加となりましたが、授業内容面で後れを取ることはありませんでした。しかしながら、現地の学生や日本人の生徒さんたちとの交流という面においては、初日に行われた

welcome ceremony や初めの週末を逃してしまったことは、少し惜しかったように感じます。今回のプログラムでは日本人の参加者 20 人が 4 人ずつ 5 グループに分けられ、1 グループに現地の学生が 2 人ずつ配属され、韓国での生活を手助けしてくださるという制度がありました。初日の ceremony では 6 人で構成されるグループ内のみならず、日本人韓国人の参加者全員が顔合わせをし、クルーズ船やホテルでの食事を楽しみ交流を深める機会があったということなのですが、プログラム参加後、遅れて参加したにもかかわらず、あまり自分から積極的に行動することができず、帰国間近になって他の学生と親交を深めることができたということが一つ後悔している点です。日本人の参加者も親切な方が多く、韓国現地の学生の中には日本語が話せる学生も在籍しており、韓国との文化の違いだけでなく、日本人の中でも様々な地域からの学生と関わることができ、異なる価値観や考え方を得ることができました。ひとつ貴重な経験としてあげられるのは、スリランカからの学生と関わるができたことです。スリランカからの学生は私たちより 1 週間ほど早く渡韓しており、韓国海洋大学での別のプログラムに参加していたのですが、寮の階が同じだったこともあり、交流をもつことができました。彼女たちは英語が堪能であったため、英語で会話をすることができ、改めて英語を学ぶことの喜び、醍醐味を味わうことができたと同時に、今後の英語学習への士気を高めることへとつながる貴重な経験となりました。

放課後や休日の過ごし方についていうと、韓国海洋大学からは栄えている地域へのアク

セスが良く、さまざまな場所を訪れたり、観光を楽しんだりすることができる立地でした。その中でも日本との違いを感じて驚いたこととして、交通費の安さがあげられます。大学から出ているバスは 1,200 ウォン（日本円で約 132 円）で乗ることができ、乗り換えも 2 回まで無料なため、交通費を気にすることなく出かけることができ、そのことが韓国で様々な場所へ出向きたくさんの経験を積むことにつながったと感じています。交通カードも大学から支給していただき、あとはコンビニや駅でチャージするのみであったためとても助かりました。また、カフェが充実しており、値段も日本に比べて安い場合が多く、私も現地の韓国人と同じようにコーヒーをよく飲むようになりました。気候は日本とそんなに変化はなく、渡航時期には台風が直撃しましたが、それ以外は晴れの日ばかりでした。台風後からはそれ以前より暑さが和らいだため、過ごしやすかったです。しかしながら屋外は日差しが強いため日傘が必要であり、屋内においてはクーラーが強くきいていたので、薄手の羽織るものや長袖があるとよいと思います。大学の寮は 2 人部屋を 1 人で使うことができ、日本とは異なりバスタブがないこと、トイレとシャワーの仕切りカーテンがないことに少し戸惑いましたが、エアコンも整備されており、十分な広さで快適でした。洗濯に関しては 500 ウォンで洗濯機、1000 ウォンで乾燥機を使うことができました。寮は大学構内にあるため、教室や学食までも遠くなく、2 階にはコンビニもあったため問題なく生活することができました。韓国学生から聞いた話なのですが、私たちが滞在した寮は唯一の学内寮であり、他の寮にはないエアコンもあるため、学生内でも選拔がある寮のようです。平日の食事は 3 食学食で使える券が配布されており、学食での食事に加え外食を通じて、食事のマナー、形式の違いを学ぶことができました。

その他にもマリンスポーツとしてヨットやサップを経験することができ、この体験が今回のプログラムの中で一番印象に残っている体験の一つです。天候の関係で予定が変更となり、日曜日の丸 1 日をつかっておこなわれたのですが、とても楽しい貴重な経験を得ることができました。しかしこの日は日差しは強く、長時間海上にいたため、私はひどい日焼けをし、やけどのようになりました。帰国まで治ることはなかったため、次回からの参加者の方には日焼け防止のラッシュガードなどを着用することを強くお勧めします。最後に、8 月 23 日から帰国日の 25 日までは学校を離れ、ホテルへ滞在しながらギョンジュで観光ツアーが行われました。悪天候のためテーマパークは中止となりましたが、世界遺産に登録されている寺院を回ったり、韓服を着たりと最後まで充実しており、たくさんの文化的体験、思い出を作ることができました。このプログラムの最中に私は体調を崩してしまったのですが、担当の Lee 先生や Jung 先生からたくさんの温かいサポートをしていただき、この韓国でのプログラムを不安なく終えることができました。今回の韓国でのプログラムを通じて、韓国の文化を学ぶことができたこと、多くの人と関わることもできたことが大きな学びでした。これから視野にいられている英語圏での長期留学の前に、アジア圏での留学を経験でき、自分の価値観を広げる経験をできたことはとても有意義で貴重なものとなりました。



全員ではありませんが、
スリランカ学生との写真



帰国日